

福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

ペガサス新横浜保育園

横浜市港北区新横浜 3-24-14

運営主体: 社会福祉法人 山百合会

| | |
|---------------------|-----------|
| ● 実施概要 | 1 ページ |
| ● 総合評価（評価結果についての講評） | 2～3 ページ |
| ● 評価領域ごとの特記事項 | 4～6 ページ |
| ● 分類・項目別評価結果 | 7～18 ページ |
| ● 利用者家族アンケート分析・集計結果 | 19～26 ページ |
| ● 利用者本人調査分析 | 27～28 ページ |
| ● 事業者コメント | 29 ページ |

公表日: 2016 年 12 月 26 日

実施機関: 特定非営利活動法人市民セクターよこはま

実施概要

| | | | |
|--------|----------------------|----------|------|
| 事業所名 | ペガサス新横浜保育園（保育所） | | |
| 報告書提出日 | 2016年12月5日 | 評価に要した期間 | 6ヶ月間 |
| 評価機関 | 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま | | |

■評価方法

| | |
|--|--|
| 1、自己評価 実施期間 2016年6月8日～2016年9月15日 | ① 職員会議で趣旨を説明し、職員全員が個人個人で記入した。 ② クラスごとに各個人が持ち寄ったものをまとめ、3つのグループに分けそれぞれのグループで話し合った。 ③ その後2つにまとめ、園長、主任でその結果を話し合いまとめた。 |
| 2、利用者家族アンケート調査 実施期間 2016年8月29日～2016年9月9日 | ① 全園児の保護者（68世帯）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配付した。 ② 各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。 |
| 3、訪問実地調査 実施日：第1日 2016年10月13日 第2日 2016年10月17日 | [第1日] ① 午前：各クラスで保育観察。 ② 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 ③ 午後：書類調査。園長・主任に面接調査。 [第2日] ① 午前：朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。 ② 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 ③ 午後：各クラス担任保育士6名、看護師1名、栄養士1名、非常勤職員1名に個別に面接調査。 その後、園長・主任に面接調査。 最後に意見交換を行い、終了。 |
| 4、利用者本人調査 実施日：第1日 2016年10月13日 第2日 2016年10月17日 | ① 観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、園外での活動も観察した。 ② 幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。 |

総合評価（評価結果についての講評）

【施設の概要】

ペガサス新横浜保育園は、JR 横浜線及び横浜市営地下鉄ブルーラインの新横浜駅から歩いて 10 分ほどの所にあります。園の周囲は横浜アリーナを始めとしてビルが多い商業地ですが、すぐ裏手には鶴見川の土手や大小の公園があり、子どもたちの散歩コースとなっています。

ペガサス新横浜保育園は平成 15 年（2003 年）4 月に社会福祉法人山百合会によって開設されました。運営法人は他に同じ港北区内に 3 園、緑区に 2 園保育園を運営しています。

園は、鉄筋 4 階建てビルの 1・2・3 階部分にあります。3 階には、同じ運営法人のペガサス夜間保育園が入っています。土の園庭は狭いですが、子どもたちが泥んこ遊びを楽しむことができます。広い屋上があり、夏には子どもたちがプール遊びをし、隅では子どもたちがプランターで野菜を育てています。

定員は 70 人（産休明け～5 歳児）、開園時間は 7:00～21:00 です。

保育理念として『子ども達の笑顔と未来のために』、「子ども達が信頼できる大人集団になるためにすべての人と手つなぎの輪を広げます」「子どもの身体づくりの為によりよい食事のあり方を目指します」「子どもの五感を大切に、生きる力の土台をつくります」、園目標として「自分らしく自信を持って生きていく力の土台を作る」を掲げています。

◆ 高く評価できる点

1、保育士の見守りのもと、子どもたちは一人一人の関心や発達に合わせ園生活を楽しんでいきます

保育士は子どもに問いかけ、言葉を足したり子どもの言葉を繰り返したりして、子どもが自分の思いを言葉で表現できるように働きかけています。週案はゆとりのあるものとなっていて、その日の子どもの関心や思いを柔軟に取り入れることができます。散歩先での集団遊びや朝の会の歌など、保育士は子どもの声を活動に取り入れながら、子どもと話し合っって子どもが年齢や発達にふさわしい活動ができるように働きかけています。このような保育士の働きかけもあり、乳児でも自分の思いを言葉で表現しています。

保育室には、子どもの興味に合わせた玩具が用意され、子どもたちは自分で選んで遊んでいます。保育士は傍で見守り、それぞれの子どもが自分の好きな活動ができるように働きかけています。図鑑を見ながら粘土で恐竜を作ったり、友達とブロックをつなぎ合わせて大きな作品を作ったり、自由遊びの時間ごとに少しずつパズルをつなげていき一日かけて仕上げたりと、子どもたちはそれぞれの興味と関心に沿った遊びに落ち着いて取り組んでいます。

0・1 歳児、2・3・4・5 歳児はそれぞれワンルームの保育室ですが、落ち着いた活動をする時には 1 階の図書コーナーを用いたり、音楽を出したり活発に身体を動かす時には 3 階のランチルームを用いたり、他のクラスが散歩に出ている時に静かに製作をするなど調整し、それぞれのクラスが年齢にふさわしい活動ができるように工夫しています。また、晴れていれば毎日、園庭で遊んだり、散歩に出かけたりしています。近隣には 10 か所以上の公園や川べり、競技場等に行く散歩コースがあり、子どもたちは身体を動かすとともに身近な自然に触れ、近隣住民と交流しています。天気が悪い日には、室内でリズム遊びや体操、巧技台、マット、鉄棒、竹馬などで身体を動かしています。

このように、園は、空間や時間、活動内容などを工夫し、「子どもがその子どもらしく自信を持って生きていく力の土台をつくる」という園目標の実践を目指しています。

2、保育士は自己研鑽に努め、方向性を共有して保育にあたっています

理念、基本方針を記したものを職員に配付するとともに、保育目標、保育姿勢を玄関に掲示し、職員がいつでも確認できるようにしています。必要に応じて、職員会議やリーダー会議で理念や基本方針を取り上げて確認し、職員が同じ方向性で保育にあたれるようにしています。

園は運営法人の人材育成計画に基づき、目標設定シートを用いて人材育成を行っています。非常勤職員を含む全職員が年に一度は外部研修に参加することとなっていて、職員は、横浜市や港北区、リズム研修などの外部研修に積極的に参加しています。

研修等で得た良い事例は、職員会議等で報告するとともに、クラスの活動にすぐに取り入れ活かすことが出来、職員のモチベーションにつながっています。職員ヒアリングにおいても、「良い事例をすぐに取り入れることが出来る」「自分のやりたい保育が出来る」という声が多数聞かれ、自己研鑽に対する職員の意識の高さを見る事が出来ました。

◆独自に工夫している点

1、個別配慮を要する子どもも園生活を楽しめるよう、様々な工夫をしています

園は、障がいや外国籍、アレルギーなど特別な配慮を要する子どもを積極的に受け入れています。保育士は、個性の一つとして受け止め、子どもたちが他の子どもたちと同じ経験を積み、園生活を楽しめるように働きかけています。

例えば、障がいのある子どもには担当保育士をつけ、障がいのある子どもがその子らしさを発揮しながら、他の子どもたちに自然に受け入れられるよう働きかけています。子ども同士の話し合いやトラブル等の場合には、保育士が言葉を足して障がいのある子どもの気持ちを代弁し、他の子どもが理解できるように仲立ちしています。また、今年度多い食物アレルギーに関しては、全職員がアレルギーの外部研修に参加し緊急時の対応などについて研鑽を積んでいます。小麦アレルギーを持つ子どものために、小麦の粘土は使用せず米粉を使った粘土を手作りしたり、牛乳アレルギーを持つ子どものために、牛乳パックではなくジュースのパックを用いて製作を行うなど、園全体で細やかな配慮をしています。

このように、保育士が様々な工夫や必要な個別の手助けをすることにより、全ての子どもが年齢や発達に合わせた活動をし、園生活を楽しんでいます。

◆改善や工夫が望まれる点

1、集団としての子どもの様子を保護者に伝えるためのさらなる工夫が期待されます

園は、0歳児から4歳児までは毎日、5歳児は必要に応じて連絡帳を用いて、個々の子どもの日々の様子を保護者に情報提供するとともに、子どもの送迎時には口頭で子どもの様子を保護者に伝えています。また、毎月園だよりを発行するとともに、新年度説明会や、懇談会、茶話会などでクラスの様子を保護者に伝えています。

ただし、保育参加については、いつでも受け付ける旨を入園説明会や新年度保護者会で説明しているものの、参加人数が少ない年度もあります。また、連絡帳に個々の子どもの様子は書かれていますが、クラス全体の様子を知らせているのは5歳児のみとなっています。

幼児になると個々の子どもの様子だけでなく、集団の中での子どもの様子も大切となってきます。保護者アンケートにも、クラス全体の様子を知りたいという声があるので、集団としての子どもの様子を保護者に伝えるためのさらなる工夫が期待されます。

評価領域ごとの特記事項

※このページは、かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って記載しています。

1、人権の尊重

- ・保育方針は『子どもの笑顔と未来のために』『子どもたちが信頼できる大人集団になる為にすべての人と手つなぎの輪を広げます』『子どもの身体づくりの為によりよい食事のあり方を目指します』『子どもの五感を大切に生きる土台を作ります』、保育目標として「自分らしく自信を持って生きる力の土台を作る」を掲げていて、利用者本人を尊重したものとなっています。
- ・虐待の定義や対応、虐待発見のポイントについて記した虐待対応マニュアルがあり、全職員に配付し周知しています。また、横浜市などの虐待に関わる研修に職員が参加し、報告しています。虐待が明白になった場合や、疑わしい場合、見守りが必要な場合には、港北区役所や北部児童相談所と連携する体制ができています。
- ・職員会議などで、子どもに対して威圧的な言葉遣いや無視が行われないよう、職員間で相互に確認しています。

2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ・保育士は子どもに分かりやすく問いかけ、子どもから意見や要望を引き出していて、子どもたちは自分の意見を活発に発言しています。子どもから出た意見をもとに、朝の会で歌う歌を決めたり、子どもと話し合い散歩先での活動を決めるなど、子どもの意見・要望を柔軟に反映しています。
- ・0・1歳児、2・3・4・5歳児は、それぞれ仕切りのないワンルームをサークルや棚などで仕切って用いています。園は、「空間・仲間・時間の流れを大切にした保育」を保育姿勢に掲げ、落ち着いて静かな活動をする時には3階のランチルームや1階の図書コーナーを用いるなど、子どもが年齢にふさわしい活動ができるように配慮しています。
- ・週案に柔軟性を持たせ、その日の子どもの状況や発想に合わせた集団活動を行っています。子どもの希望に合わせて、ドッジボールや鬼ごっこなどの集団活動をしている様子が見られました。
- ・子どもの年齢や発達状況にあわせて自由に表現ができるよう、歌やリズム、体操、製作などを行っています。
- ・散歩や屋外活動などを積極的に取り入れています。天気が良ければ必ず散歩に行くことができるように週案を立てています。近隣には10箇所以上公園があり、その他にも川べりや競技場などに行く散歩コースがあります。
- ・連絡帳は年齢にかかわらず全員が持っており、0～4歳児クラスの保育士は、連絡帳にその日の様子を記入しています。5歳児クラスは、クラス全体の様子が把握できるようにクラス全体のノートを用意し、その日の活動を保護者に伝えています。

3、サービスマネジメントシステムの確立

- ・0・1・2歳児は毎月、3・4・5歳児は4期に分けて成長発達の記録に養護、教育、健康状態に分けて記録しています。子どもの記録は事務室の鍵のかかる棚に保管されていて、必要な職員が確認することが出来ます。
- ・苦情解決についてのマニュアルがあり、園のしおりに明記するとともに、玄関に「苦情解決体制について」を掲示し保護者に周知しています。職員は連絡帳や送迎時の会話の中から、保護者の要望や苦情を

把握するように努めています。また、意見箱を玄関に設置するとともに、年2回の懇談会、行事後及び年度末のアンケートで保護者の意見・要望を聞いています。

- ・「健康管理マニュアル」や「衛生管理マニュアル」、「安全対策／事故対応マニュアル」、「災害対策マニュアル」等の各種マニュアルを整備しています。
- ・避難訓練年間計画をもとに月1回避難訓練を実施しています。地震や火災訓練、消火器訓練、防犯訓練、広域避難場所まで行く訓練も実施しています。プール中の災害を想定して、屋上からすべり台を使って避難をする訓練も行っています。
- ・事故やケガの発生に備え、保護者や関係機関の連絡体制を確立しています。「緊急／病院リスト一覧」を事務室に備え、保育室には医療機関の一覧表を掲示・保管しており、緊急時に速やかに対応できるようにしています。保護者には、緊急時における対応を入園時に説明しています。

4、地域との交流・連携

- ・地域から開かれた園を目指して、地域子育て支援事業を利用する保護者に実施したアンケートや地域子育て支援拠点、園長会、主任会、系列園等を通して、地域の子育て支援ニーズを把握しています。
- ・地域子育て支援として、週1回の園庭開放（夏場はプール開放）、交流保育（随時）、育児講座（年1回程度）、一時保育（8:30～16:30）、絵本の貸し出し、育児相談（随時）、ベビーステーション（オムツ換えや授乳の場所提供）などを実施しています。
- ・育児相談は園長と主任が担当しています。育児相談の相談日は設けず、随時相談を受け付けています。保育園に入る方法などの入所相談が主となっています。
- ・港北区中部エリアの保育士主任会で企画をしている「にこにこ広場」に協力し、保育イベントを行っています。また、社会福祉協議会が港北区役所で実施する「わくわく子育て広場」に参加して、保育園の紹介やイベントに協力しています。
- ・近隣と友好的な関係を築くために、アリーナの花植え、ホテルの七夕飾り、スタジアムの鯉のぼりイベントに協力しています。

5、運営上の透明性の確保と継続性

- ・個々の保育士の自己評価を基に、年度末のクラス会議で話し合い、クラスとしての自己評価をしています。クラスの自己評価と年度末の保護者アンケートを基に、園長、主任が園としての自己評価を作成しています。ただし、園としての自己評価を園内に掲示し公表していますが、職員会議で報告し、園として改善に取り組むことは行っていないので、今後の取り組みが期待されます。
- ・就業規則、職員倫理規定、計視診と職員の行動規範などに、職員が守るべき法・基本、倫理などを明記するとともに、職員会議、リーダー会議などで職員に周知しています。
- ・理念、基本方針を記したものを職員に配付するとともに、保育目標、保育姿勢を玄関に掲示しています。年度始めの職員会議で、園長が職員に周知しています。また、必要に応じて、職員会議やリーダー会議で取り上げ、確認しています。
- ・園長、主任は保育の様子を見て回るとともに、日誌や指導計画をチェックし、職員が理念や基本方針を理解しているかを確認し、必要に応じて指導しています。また、年2回の園長面談でも確認しています。


6、職員の資質向上の促進

- ・運営法人の人材育成計画に基づき、人材育成を行っています。目標管理シートを用いて職員が目標を記入して4月の園長面談で目標設定し、年度末には自己評価し、それを基に園長面談で達成度の評価を行っています。

- ・内部研修として、職員会議で、外部研修に参加した職員が報告しています。全職員を対象に、AED と嘔吐処理の研修を実施しています。また、運営法人の給食部会、看護師部会、研修部会、発表部会などがあり、該当する職員や希望する職員が参加しています。
- ・職員は、横浜市や港北区、幼保小合同研修会、リズム研修等の外部研修に積極的に参加しています。アレルギーに関しては、年度内に全職員が外部研修に参加する予定です。研修に参加した職員は研修報告書を記載するとともに、職員会議でも報告しています。研修報告書は職員休憩室に置いています。
- ・非常勤職員に対しても、資質向上への取り組みを実施しています。
- ・研修などで得た、他施設の良い事例等について、職員会議で報告し、話し合っています。保育士は、研修などで得た事例をクラスで活かしていて、職員ヒアリングにおいても「よい事例をすぐに取り入れることが出来ている」「自分のやりたい保育ができる」という声が多数聞かれました。
- ・運営法人の「教育訓練体系」に階層ごとの役割や期待水準が明記されています。

分類別評価結果


※ 横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。

※  ← 「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

※ 評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

評価領域 I 利用者（子ども）本人の尊重

| 評価分類 | 評価の理由(コメント) |
|---|---|
| <p>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p>  <p>(1)保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2)保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。</p> <p>(3)日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p> | <ul style="list-style-type: none">・保育方針は『子ども達の笑顔と未来のために』『子ども達が信頼できる大人集団になる為にすべての人と手つなぎの輪を広げます』『子どもの身体づくりの為によりよい食事のあり方を目指します』『子どもの五感を大切にし、生きる力の土台をつくります』、保育目標として「自分らしく自信を持って生きる力の土台を作る」を掲げていて、利用者本人を尊重したものとなっています。保育方針、保育目標を園のしおり、保育課程、パンフレットに明記するとともに、保育目標、保育姿勢を玄関に掲げいつでも確認できるようにしています。また、職員会議、リーダー会議、非常勤会議などで折に触れて取り上げ、周知しています。・保育課程は保育理念、保育方針、保育目標に基づき、家庭の状況や周囲の環境、クラスの子どもの様子などを反映して作成されていて、子どもの最善の利益を第一義にしています。保育課程は、職員会議で話し合い作成しています。非常勤職員に対しては、リーダーが説明し意見を聞いています。・保育士は、朝の会、帰りの会で子どもに活動の内容や目的について分かりやすく説明し、子どもが見通しを持って活動に取り組めるようにしています。保育士は子どもに分かりやすく問いかけ、子どもから意見や要望を引き出して、子どもたちは自分の意見を活発に発言しています。子どもから出た意見をもとに、朝の会で歌う歌を決めたり、子どもと話し合い散歩先での活動を決めるなど、子どもの意見・要望を柔軟に反映している様子を観察日にも確認することが出来ました。 |

I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- (1)入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。
- (2)新入園児の受け入れ時の配慮を十分しているか。
- (3)子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。



- ・入園時には、園長、主任、保育士など複数の職員で保護者と面接しています。入園時面接には子どもを同伴してもらい、子どもの様子を観察し、保護者に家庭での様子を聞いています。入園面接で把握された情報は、職員会議で報告し共有しています。記録は事務室に置かれていて、職員は必要な時に確認することが出来ます。
- ・ならし保育(短縮保育)について園のしおりに明記し、入園時面接で保護者と話し合い、実施しています。ならし保育は、保護者の勤務状況に合わせ、保護者と相談しながら柔軟に対応しています。0・1歳児の新入園児に関しては、できるだけ同じ保育士が、オムツ替え、授乳、午睡などの生活の流れを担当するようにしています。
- ・ならし保育の期間は、新入園児が帰った後に、在園児がゆっくり甘えられる時間を作るなどの配慮をしています。新入園児が泣く時には、他の子どもは地域支援室を用いるなど、在園児の今までの生活を変えないように工夫しています。
- ・子どもの発達や状況に応じて、年間指導計画、月案、週案を作成しています。指導計画はクラスで子どもの状況について話し合っ作成し、職員会議で反省、評価を行い、意見交換しています。
- ・行事後や年度末には保護者アンケートを取り、次期の指導計画の作成に活かしています。お楽しみ会の場所が狭いという保護者の意見を受けて、乳児・幼児に分けて2部制にしたなどの事例があります。


I-3 快適な施設環境の確保




- (1)子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。
- (2)沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。
- (3)子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

- ・掃除マニュアル、掃除チェック表に基づき清掃がなされていて、園内・外とも清潔に保たれています。保育室に空気清浄機、温・湿度計を設置し、エアコンを用いて管理しています。0・1歳児保育室には床暖房の設備があります。
- ・保育室の窓は大きく、陽光を十分に取り入れることが出来ます。西日が入る時間帯には、遮光・遮熱効果のあるレースのカーテンを引く等の配慮をしています。
- ・0・1歳児、2・3・4・5歳児は、それぞれ仕切りのないワンルームをサークルや棚などで仕切って用いています。園は、「空間・仲間・時間の流れを大切にしたい保育」を保育姿勢に掲げ、落ち着いて静かな活動をする時には3階のランチルームや1階の図書コーナーを用いたり、他のクラスの散歩中に音が出る活動をするなど工夫して、子どもが年齢にふさわしい活動ができるように配慮しています。
- ・0・1歳児保育室には沐浴設備があります。0・1歳児保育室、1階テラス、3階トイレ、屋上には温水シャワーの設備があります。沐浴設備、温水シャワーの設備は清掃が充分に行われていて、清潔に保たれています。

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・0・1 歳児、2・3・4・5 歳児はそれぞれ同じ空間を仕切って用いていて、日常的に交流しています。また、異年齢空間の場としては図書コーナー、ランチルームなどがあります。 |
| <p>I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p>  <p>(1)子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか。</p> <p>(2)子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・0・1・2 歳児は個別目標をたて個別指導計画を作成しています。幼児についても、特別な課題がある場合には、個別指導計画を作成しています。個別の目標、計画は、子どもの状況についてクラス会議、職員会議、リーダー会議等で話し合い、検討、見直しをしています。離乳食の進め方、トイレトレーニングなどについて、送迎時や個人面談、懇談会などで保護者に説明し、同意を得ています。 ・保育所児童保育要録を作成し、小学校に送付しています。 ・入園時に家庭環境調査票、健康台帳などに、子どもや家庭の個別の状況、要望を保護者に記載して貰っています。0・1・2 歳児は毎月、3・4・5 歳児は4 期に分けて成長発達の記録に養護、教育、健康状態に分けて記録しています。また、0 歳児は毎日の記録に日々の様子を記録しています。子どもの記録は事務室の鍵のかかる棚に保管されていて、必要な職員が確認することが出来ます。 |
| <p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p>  <p>(1)特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。</p> <p>(2)障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。</p> <p>(3)虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。</p> <p>(4)アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていないか。</p> <p>(5)外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れています。 ・フロア会議、職員会議などで個別のケースについて話し合っていて、記録もあります。障がい等に関する外部研修に参加した職員は、報告書を提出するとともに、職員会議でも報告しています。研修報告書は職員休憩室に置き、全職員で共有しています。 ・園内はバリアフリー構造になっています。障害者用トイレ、エレベーターの設備もあります。 ・横浜市リハビリテーションセンターとはいつでも相談できる体制を築いています。保護者の同意を得て、巡回に来てもらったり、職員が見学に行ったりし、指導やアドバイスを受けています。 ・保育士は障がいをもつ個性をとらえ、子どもたちが自然に受け入れられるように働きかけています。子ども同士の話し合いやトラブルなどの場合には、保育士は言葉を足して障がいのある子どもの気持ちを代弁し、他の子どもが理解できるように仲立ちしています。 ・虐待の定義や対応、虐待発見のポイントについて記した虐待対応マニュアルがあり、全職員に配付し周知しています。また、横浜市などの虐待に関わる研修に職員が参加し、報告しています。虐待が明白になった場合や、疑わしい場合、見守りが必要な場合には、港北区役所や北部児童相談所と連携する体制ができています。 ・子どものかかりつけ医から「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」を提出してもらい、それに基づき除去食を提供しています。アレルギー対応マニュアルを作成し、全職員に配付して |

| | |
|---|--|
| | <p>います。今年度は、アレルギーについての外部研修に全職員を派遣する予定です。アナフィラキシーへの緊急対応としてエピペンの園内研修も実施しています。保護者とは除去食の見直し等の際に面談し情報交換しています。除去食を提供する際には、除去食用の食器、子どもの名前と除去食材を記載した専用のトレイ、トレイカバーを用いています。食事スペースも分け、保育士が必ず傍についています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー対策として、小麦粉粘土は用いず手作りの米粉粘土を用いる、製作や手作りおもちゃの素材にも牛乳パックではなくジュースパックやお菓子の箱を用いるなどの配慮をしています。 ・外国籍の子どもに対し、文化や生活習慣、考え方の違いを認め尊重しています。食生活が違うため入園時の食品摂食表にある日本食品を保護者が理解できず、給食で用いる前に食材を園で用意し試してもらったなどの事例があります。今まで全く日本語が理解できない事例はありませんが、お便りに振り仮名を振る、日本語が理解できる保護者に通訳を頼む、保育士が簡単な日常会話を学ぶなどの工夫をしています。 |
| <p>I - 6 苦情解決体制</p>  <p>(1)保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。</p> <p>(2)要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決についてのマニュアルがあり、園のしおりに明記するとともに、玄関に「苦情解決体制について」を掲示し保護者に周知しています。第三者委員2名を定め、氏名と連絡先を園のしおり、玄関の掲示で周知しています。 ・職員は連絡帳や送迎時の会話の中から、保護者の要望や苦情を把握するように努めています。また、意見箱を玄関に設置するとともに、年2回の懇談会、行事後及び年度末のアンケートで保護者の意見・要望を聞いています。 ・要望や苦情について、リーダー会議や職員会議などで職員間で話し合い、解決策を講じています。子ども同士の関わりについての保護者からの意見を受けて、子どもとの関わり方について話し合ったなどの事例があります。 |

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

| 評価分類 | 評価の理由（コメント） |
|--|---|
| <p>Ⅱ - 1 保育内容[遊び]</p>  <p>(1)子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べる</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが玩具や絵本を取り出して遊べるような保育環境を全クラスで設定しています。木製の棚に玩具類を並べたり、子どもが玩具類を取り出しやすいように、プラスチック製や紙製の箱に玩具の写真を貼るなどして整理しています。各保育室には、プラスチック玩具やおままごと、布や紙パックの手作り玩具、さまざまな種類のブロック、カルタ、パズル、ひも通し、トランプ、絵本、ごっこ遊びに |

スペースなど)ができているか。

(2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。

(3)動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。

(4)子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。

(5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。

(6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。

使う手作リエプロンなど、年齢や発達に応じた玩具類を置き、子どもの興味や発達に合わせて、保育士が適宜入れ替えています。また、アレルギーを持つ子どものために、米粉を使って粘土を手作りするなど、子どもの個別状況や安全性に十分配慮しています。

- ・空間を年齢ごとに分けて保育環境を設定しています。0、1歳児クラスの部屋は低い柵で2つに分け、活動に合わせて柔軟に使用しています。2～5歳児クラスでは、年齢層ごとに一つの空間を4つに柵で分けて使用しています。
- ・週案に柔軟性を持たせ、その日の子どもの状況や発想に合わせた集団活動を行っています。子どもの希望に合わせて、ドッジボールや鬼ごっこなどの集団活動をしている様子が見られました。
- ・屋上のプランターを利用し、人参やラディッシュ、オクラ、ごま、ブロッコリー、ジャガイモ、藍などを栽培しています。栽培した藍を使って運動会用のはちまきの藍染を行っています。収穫した野菜を子どもたちが調理室に持っていき、給食の材料として子どもに提供しています。
- ・子どもの年齢や発達状況にあわせて自由に表現ができるよう、歌やリズム、体操、製作などを行っています。リズムは、0歳児クラスから取り入れています。3歳児クラスになると、週1回時間を組んで行い、身体を使って自由に表現できるように配慮しています。
- ・異年齢の子ども同士が関わりを持てるように、さまざまな機会を用意しています。リズムはクラスで行ったり、全体で行ったりして、下のクラスの子どものが上のクラスに憧れを持つ機会になっています。お楽しみ会では、3～5歳児クラスで合奏をしています。散歩をクラス合同で行う際には、年上の子どもが年下の子どもと手をつないで歩いています。5歳児クラスの子どものが、2、3歳児クラスの午睡後の着替えや布団運びをするという機会もあります。
- ・散歩や屋外活動などを積極的に取り入れています。天気が良ければ必ず散歩に行くことができるように週案を立てています。近隣には10箇所以上公園があり、その他にも川べりや競技場などに行く散歩コースがあります。雨の日にも、身体を使って遊ぶことができるように、巧技台や鉄棒、マット、跳び箱など年齢に合わせて設定し、運動能力が高められるようにしています。

Ⅱ－1 保育内容[生活]



(7)食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。

(8)食事の場、食材、食器等に配慮しているか。

(9)子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。

- ・子どもたちが食事及びその過程に関心を持つことができるように、年齢に応じた年間食育計画を立てています。子どもが育てた野菜でカレーライスやスープを作るなど、食事を楽しんでいます。年齢に応じて、皮をむいたり、野菜洗ったり、切るなどの調理に携わるほか、足りない食材を買いに行く体験もしています。クッキー作りやコロケパーティー、お弁当給食の日には、各家庭から持参した弁当箱に給食の具材を詰めて散歩に行くなど、楽しい企画も行っています。

(10)子どもの食生活について、家庭と連携しているか。

(11)午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。

(12)排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。

- ・乳児の授乳は、一対一で抱っこをして、ゆったりとした雰囲気の中かで与えています。また、保護者の意向に応じて、母乳の受け入れも行っています。
- ・献立やおやつは、月1回系列園で行われる献立会議をもとに、季節感のある野菜中心のメニューを全て手作りで提供しています。
- ・子どもの発達を考慮し、4種類のスプーンを用意しています。箸は持ちやすい6角のものを使用しています。スプーンをしっかりと持って食べることができるようになってから、箸の指導をはじめています。4歳児クラス以上になると、自分の箸を家庭から持ってきています。
- ・栄養士は、出来る限り子どもたちの食事の様子を見るようにしています。また、カレーパーティーやお泊り保育の際には、積極的に子どもたちにかかわっています。
- ・茶話会などの際に、保護者が給食を試食できる機会を設けています。
- ・安心して心地よい眠りにつくことができるように、カーテンをして光の調節を行っています。また、午睡前、子どもたちに絵本を読むなど、入眠に向けて静かに過ごしています。
- ・園では布オムツを使用しています。一対一の時間を積極的に作るとともに、排泄の感覚をつかみやすくなるとして、布オムツを取り入れています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理[健康管理]



(1)子どもの健康管理は、適切に実施されているか。

(2)健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。

(3)感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

- ・「健康管理マニュアル」や、「視診マニュアル」、「与薬マニュアル」を整備し、「健康計画表」に基づき一人一人の健康状態を把握しています。
- ・保育中、子どもの健康状態に変化があった場合には、担任や看護師が確認し、担任から保護者に連絡を入れています。発熱の場合は37.5℃を目安に保護者に知らせ、38℃になったら降園後の対応について話し合っています。看護師は、看護日誌に記録を残しています。
- ・歯磨き指導は、歯が生え始めたら開始しています。丸い取っ手の歯ブラシから開始し、2歳児クラスまでは保育士が仕上げ磨きをしています。3、4、5歳児クラスでは自分で歯磨きをしています。
- ・毎月の身体測定、年2回の健康診断、年1回の歯科健診などの健診結果を、「児童健康台帳」やシール帳などに記録しています。歯科健診で医療機関の受診が必要だという結果が出た場合は、治療結果を園に報告してもらえるように保護者をお願いしています。
- ・入園時に保護者に渡す「園のしおり」に、健康管理について明記し、感染症発症時の登園停止日数や登園許可証明書などについて、保護者に知らせています。また、「保健だより」を毎月発行して、感染症予防や健康についての情報を保護者に提供しています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



(4)衛生管理が適切に行われているか。

- ・「衛生管理マニュアル」や「掃除マニュアル」に基づき、衛生管理を行っています。
- ・マニュアル類は、法人内の看護師委員会などを通して、定期的に見直しを行っています。
- ・マニュアルに沿って清掃が行われるように、「掃除チェック表」や「大掃除チェック表」を活用しています。日々の掃除や毎朝の玩具消毒のほか、年2回大掃除を行っています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



(5)安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。

(6)事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。

(7)外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

- ・「安全対策／事故対応マニュアル」や「災害対策マニュアル」などを整備しています。保護者には、「園のしおり」を通して、緊急時における対応や緊急災害時の対策を知らせています。
- ・避難訓練年間計画をもとに月1回避難訓練を実施しています。地震や火災訓練、消火器訓練、防犯訓練、広域避難場所まで行く訓練も実施しています。プール中の災害を想定して、屋上からすべり台を使って避難をする訓練も行っています。
- ・事故やケガの発生に備え、保護者や関係機関の連絡体制を確立しています。「緊急／病院リスト一覧」を事務室に備え、保育室には医療機関の一覧表を掲示・保管しており、緊急時に速やかに対応できるようにしています。保護者には、緊急時における対応を入園時に説明しています。
- ・園の門はオートロックになっており、職員が解錠しています。運動会など行事の際には、参加人数を事前に把握し、関係者には「ペガサス証」を首から下げてもらっています。警備会社のセキュリティシステムを導入し、園内4箇所に防犯カメラを設置しています。

Ⅱ－３ 人権の尊重



(1)保育中の子どもの呼び方や叱り方で、子どもの人格尊重を意識しているか。

(2)必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。

(3)個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。

(4)性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

- ・職員会議などで、子どもに対して威圧的な言葉遣いや無視が行われないよう、職員間で相互に確認しています。
- ・必要に応じて、子どもに威圧感を与えず一対一で話し合える場所として、ランチルームや図書コーナー、地域支援室などがあります。
- ・写真の取り扱いや誕生日表への掲載について、入園時に確認をして記録に残しています。
- ・遊びや行事の役割、持ち物の色、個別のマーク、服装などで性別による区別をしていません。


Ⅱ－４ 保護者との交流・連携



- ・年1回3月に行う園独自の保護者アンケートや行事のアンケートなどを通して、保育方針の理解度や意向を把握しています。
- ・連絡帳を活用して、園での子どもの状況と家庭での情報を密に共有しています。連絡帳は年齢にかかわらず全員が持っており、0～4歳児クラスの保育士は、連絡帳にその日の様子を記入しています。5

| | |
|---|---|
| <p>(1)保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。</p> <p>(2)個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。</p> <p>(3)保護者の相談に応じているか。</p> <p>(4)保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。</p> <p>(5)保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。</p> <p>(6)保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。</p> | <p>歳児クラスは、クラス全体の様子が把握できるようにクラス全体のノートを用意し、その日の活動を保護者に伝えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年1回、11月頃に個別面談を行っています。 ・ 新年度説明会や懇談会、茶話会を実施し、園やクラスの様子を保護者に伝えています。2月の茶話会では、撮りためたビデオを上映したり、食事の試食会などを実施しています。 ・ 他の人に聞かれることなく保護者が相談できるように、地域支援室を利用して相談できるように配慮しています。 ・ 園だよりの「ペガサスだよりの」を毎月発行しています。「ペガサスだよりの」は、園長の挨拶から始まり、クラスだよりの、延長(保育)だよりの、給食だよりの、保健だよりの、献立表を掲載しています。 ・ 3月に年間行事予定表を保護者に渡し、保護者が休暇等の予定を立てやすくしています。 ・ 保護者の負担を軽減するため、保護者会は設置していません。保護者の自主的な活動として、お楽しみ会の出し物や、謝恩会があります。打ち合わせ場所として、地域支援室や保育室などを提供しています。 ・ 保育参加ができることについて、入園説明会や新年度説明会で保護者に話しています。一方、家族アンケートでは、保育参観や保育参加を望む声が出ており、呼びかけの方法などについてさらなる工夫が期待されます。 |
|---|---|

評価領域Ⅲ 地域支援機能




| 評価分類 | 評価の理由 (コメント) |
|---|--|
| <p>Ⅲ－1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>(1)地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2)地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域から開かれた園を目指して、地域子育て支援事業を利用する保護者に実施したアンケートや地域子育て支援拠点、園長会、主任会、系列園等を通して、地域の子育て支援ニーズを把握しています。 ・ 地域子育て支援は、園長と主任が担当しています。市や区の社会福祉協議会の福祉部会の保育分科会に参加して具体的な情報を入手した上で定期的に、園長と主任で話し合い、職員に報告しています。 ・ 地域子育て支援として、週1回の園庭開放(夏場はプール開放)、交流保育(随時)、育児講座(年1回程度)、一時保育(8:30～16:30)、絵本の貸し出し、育児相談(随時)、ベビーステーション(オムツ換えや授乳の場所提供)などを実施しています。 |
| <p>Ⅲ－2 保育所の専門性を活かした相談機能</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所からのお知らせは、園の前にある掲示板や、地域子育て支援拠点のメール配信、ホームページ、区役所の案内などを通して地域に発信しています。 ・ 港北区こども家庭支援課や福祉保健センター、北部児童相談所、北 |



- (1)地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。
- (2)相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。

- 部地域療育センター、医療機関、警察署、消防署、警備会社などの連絡先をリスト化し、職員が共有しています。
- ・育児相談は随時受け付けることとし、相談日を設けていません。主に地域子育て支援を利用する保護者から保育園に入る方法などの相談を受けています。今後においては、園の掲示板やホームページなどを通して育児相談を行っていることを幅広く知らせていくことが望まれます。



評価領域Ⅳ 開かれた運営


| 評価分類 | 評価の理由（コメント） |
|--|---|
| <p>Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  <ul style="list-style-type: none"> (1)保育所に対する理解促進のための取り組みを行っているか。 (2)子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・七夕やお月見、焼き芋大会、リズム公開保育などに、地域の親子を招待しています。 ・港北区中部エリアの保育士主任会で企画をしている「にこにこ広場」に協力し、保育イベントを行っています。また、社会福祉協議会が港北区役所で実施する「わくわく子育て広場」に参加して、保育園の紹介やイベントに協力しています。 ・近隣と友好的な関係を築くために、アリーナの花植え、ホテルの七夕飾り、スタジアムの鯉のぼりイベントに協力しています。 ・日常的に、同じ建物内の系列園と交流をしています。5歳児クラスは地域年長保育園の交流に参加したり、小学生と交流する機会もあります。 |
| <p>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</p>  <ul style="list-style-type: none"> (1)将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。 (2)利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・園のリーフレットやホームページに、延長保育、一日の流れ、行事、給食、地域子育て支援などを掲載しています。 ・園長が窓口になり、見学案内は主任が主に行き、随時対応できるようになっています。 ・利用希望者には見学ができることを案内しています。見学は、子どもたちが園内にいる午睡後の時間帯をすすめています。見学は3組位を目安に、見学希望者の都合を聞きながら対応しています。 |
| <p>Ⅳ－３ ボランティア・実習の受け入れ</p>  <ul style="list-style-type: none"> (1)ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ボランティア受け入れマニュアル」、「ボランティアのしおり」を整備し、ボランティアの意義や受け入れ手順を明確にしています。 ・中学生の職場体験を受け入れています。受け入れにあたっては、職員等に受け入れの目的などを話しています。 ・「実習生受け入れマニュアル」、「実習生のしおり」を整備し、実習生受け入れの意義や受け入れ手順を明確にしています。 ・実習内容は、実習学生の年次により、観察、参加、部分実習から責任実習と段階的に進めていきます。各年齢のクラスに入り、最終的 |

(2)実習生の受け入れを適切に行っているか。


に全体が把握できるようにプログラムを工夫しています。



評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上

| 評価分類 | 評価の理由（コメント） |
|---|--|
| <p>Ⅴ－１ 職員の人材育成</p>  <p>(1)保育所の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。 (2)職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。 (3)非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p> | <ul style="list-style-type: none">・保育所運営に十分な人材であるかを園長がチェックし、それに基づき運営法人の人事担当が必要な人材の補充を行っています。様々な年齢の幅広い人材構成となるように配慮しています。職員の確保は難しい状況ですが、職員の定着率が良いので、必要な人材が確保されています。・運営法人の人材育成計画に基づき、人材育成を行っています。目標管理シートを用いて職員が目標を記入して4月の園長面談で目標設定し、年度末には自己評価し、それを基に園長面談で達成度の評価を行っています。・内部研修として、職員会議で、外部研修に参加した職員が報告しています。全職員を対象に、AEDと嘔吐処理の研修を実施しています。また、運営法人の給食部会、看護師部会、研修部会、発表部会などがあり、該当する職員や希望する職員が参加しています。・職員は、横浜市や港北区、幼保小合同研修会、リズム研修等の外部研修に積極的に参加しています。アレルギーに関しては、年度内に全職員が外部研修に参加する予定です。研修に参加した職員は研修報告書を記載するとともに、職員会議でも報告しています。研修報告書は職員休憩室に置いています。・非常勤職員に対しても、資質向上への取り組みを実施しています。今年度は非常勤職員から先に外部研修に派遣しています。また、非常勤職員に対しても目標管理シートを用いて、年2回の園長面談で目標設定と評価をしています。保育に関しては、フロアリーダーが指導しています。・リーダー会議、職員会議の内容については、フロアリーダーが非常勤職員に伝達しています。また、議事録、クラスごとの連絡ノート、研修報告書などで情報共有を図っています。 |
| <p>Ⅴ－２ 職員の技術の向上</p>  <p>(1)職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。 (2)保育士等が保育や業務の計画及び記</p> | <ul style="list-style-type: none">・職員は目標管理シートを用い目標達成度の自己評価をしています。また、リーダー会議、乳幼児会議、職員会議等で振り返りを行っています。研修などで得た、他施設の良い事例等について、職員会議で報告し、話し合っています。保育士は、研修などで得た事例をクラスで活かしていて、職員ヒアリングにおいても「よい事例をすぐに取り入れることが出来ている」「自分のやりたい保育ができる」という声が多数聞かれました。また、横浜市リハビリテーションセンターやリズム公開保育の講師など外部から評価や指導を得ています。 |

| | |
|--|---|
| <p>録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。</p> <p>(3)保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・指導計画、保育日誌などには、自己評価の欄があり、定型化されています。保育士は結果ではなく子どもの成長や意欲、取り組む課程等を大切に保育にあたっていて、自己評価もその視点に沿ってなされています。自己評価の結果は、次期の指導計画等に反映されています。 ・個々の保育士の自己評価を基に、年度末のクラス会議で話し合い、クラスとしての自己評価をしています。クラスの自己評価と年度末の保護者アンケートを基に、園長、主任が園としての自己評価を作成しています。園としての自己評価には、保育目標、子どもの発達援助、保護者支援、給食、クラス、保護者アンケート、今後の改善点などの項目があり、保育所の理念や保育方針、保育課程に沿って行われています。ただし、園としての自己評価を園内に掲示し公表していますが、職員会議で報告し、園として改善に取り組むことは行っていないので、今後の取り組みが期待されます。 |
| <p>V-3 職員のモチベーションの維持</p>  <p>(1)本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・運営法人の「教育訓練体系」に階層ごとの役割や期待水準が明記されています。 ・クラス運営や係など、現場の職員に可能な限り権限を委譲しています。 ・職員会議で業務改善についての職員からの提案を受け、話し合っています。また、年2回の園長面談で、職員の満足度や要望などを把握しています。 |

評価領域VI 経営管理

| 評価分類 | 評価の理由（コメント） |
|---|--|
| <p>VI-1 経営における社会的責任</p>  <p>(1)事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。</p> <p>(2)サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・就業規則、職員倫理規定、「経営指針と職員の行動規範」などに、職員が守るべき法・基本、倫理などを明記するとともに、職員会議、リーダー会議などで職員に周知しています。他施設での不正、不適切な事案は職員会議、リーダー会議で取り上げ、職員に周知しています。非常勤職員に対しては、フロアリーダーが伝えています。事案によっては、休憩室に掲示するとともに、口頭でも関係する職員に伝達しています。 ・横浜市子ども青少年局のホームページで運営法人の財務諸表を公開しています。 ・ゴミ箱を分かりやすく色分けし、子どもと一緒にゴミの分別を行っています。廃材を手作りおもちゃや製作の素材として用いたり、廃油を用いてプリン石鹸を作り、保育室の清掃に用いたり、給食室で出た野菜の皮を用いて生ごみ処理機で堆肥を作り、子どもの野菜の栽培に用いるなど、リサイクルに向けた取り組みをしています。 |

| | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・電気のスイッチにシールを貼るなどして省エネルギーの促進をしています。また、電灯をLEDに変えています。 ・ただし、環境への考え方や取り組みを文章化するまでには至っていません。 |
| <p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>  <p>(1) 保育所の理念や基本方針等について職員に周知されているか。</p> <p>(2) 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。</p> <p>(3) 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・理念、基本方針を記したものを職員に配付するとともに、保育目標、保育姿勢を玄関に掲示しています。年度初めの職員会議で、園長が職員に周知しています。また、必要に応じて、職員会議やリーダー会議で取り上げ、確認しています。非常勤職員にはリーダーが伝えていません。 ・園長、主任は保育の様子を見て回るとともに、日誌や指導計画をチェックし、職員が理念や基本方針を理解しているかを確認し、必要に応じて指導しています。また、年2回の園長面談でも確認しています。 ・昨年度の子ども子育て新制度の導入の際には、制度と重要事項説明書について保護者に説明し、保護者の質問に答え、同意を得ています。来年度の運営法人の新園開設とそれに伴う職員の異動に関して、職員、保護者に経緯や経過などを説明しています。ただし、重要な意思決定を要する事案がないため、異なる部門の職員による検討チームを編成するまでには至っていません。今後、重要な事案が発生した場合には、検討チームを立ち上げ組織を上げて取り組む予定です。 ・運営法人の「教育訓練体系」に基づき主任クラスを計画的に育成しています。主任は運営法人の主任部会に参加しています。 ・主任はフリーの立場でクラスに入り、個々の職員の業務状況を把握しています。また、毎朝、クラスをラウンドして、連絡ノートや子どもの連絡帳等に目を通し、クラスの状況を把握しています。主任は個々の職員の様子を見守り、職員が精神的、肉体的に良好な状態で仕事に取り組めるようシフトを調整するなどの配慮をしています。 |
| <p>VI-3 効率的な運営</p>  <p>(1) 外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 保育所運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・園長は、横浜市や港北区の社会福祉協議会、横浜市私立保育園園長会、私立保育園連盟、幼保小連絡会議などに参加し、事業運営に影響のある情報を収集・分析しています。重要な情報は、運営法人の経営者会議や園長会で報告し、重点改善課題として設定しています。園長は職員会議やリーダー会議で重要な改善課題について報告し、話し合っています。 ・運営法人は、平成24年度から平成28年度、平成29年度から平成33年度の中長期的計画を作成しています。 ・運営法人の理事会、経営者会議、園長会で、次代の組織運営について常に検討しています。運営に関し、税理士や社会保険労務士などの意見を聞いています。 |

利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2016年8月29日～9月9日
- 2、実施方法 ①保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。
②各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 60.3%（68枚配付、41枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス…5人、1歳児クラス…8人、2歳児クラス…4人、3歳児クラス…8人、
4歳児クラス…10人、5歳児クラス…6人

※ 同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

※ 文中の「満足」「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値、「不満」は、「不満」・「どちらかといえば不満」の回答を合計した数値です。

- ・園の保育目標・保育方針を「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者の割合は合わせて78.1%、「あまり知らない」「まったく知らない」と答えた保護者は合わせて14.6%です。保育目標・保育方針を「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者の中で、「賛同できる」(56.3%)「まあ賛同できる」(34.4%)と答えた保護者の割合は合わせて90.7%と高くなっています。
- ・比較的満足度の高い項目は「給食の献立内容について」「外部からの不審者侵入を防ぐ対策について」「感染症の発生状況や注意事項などの情報提供について」「あなたのお子さんが大切にされているか」の97.6%、「園の目標や方針についての説明について」「クラスの活動や遊びについて」「子どもが戸外遊びを十分にしているか」「園の行事の開催日や時間帯についての配慮について」「お子さんに関する重要な情報の連絡体制について」「保護者からの相談事への対応」の95.1%です。
- ・一方、不満の割合が比較的多い項目は、「残業などで迎えが遅くなる場合の対応について」の36.6%、「費用やきまりについての説明について」「保護者懇談会や個別面談などの話し合いの機会について」の12.2%です。
- ・「見学の受け入れ」が70.7%と比較的満足度が低くなっていますが、「その他」が24.4%となっていて、自由記述欄にも「見学していない」というコメントが複数あります。また、「アレルギーのあるお子さんや障がいがあるお子さんへの配慮について」も「その他」が19.5%になっています。
- ・総合満足度は「満足」が51.2%、「どちらかといえば満足」が41.5%、合わせて92.7%となっていて、高い満足度となっています。
- ・自由意見欄には、「園全体で見てもらっている感じがするので有難い」「安心して預けられます」などの感謝の声があります。一方、「日々の詳しいことを教えてほしい」「保育参観などがあつたら日頃の子どもたちの様子が見られるのでやってほしい」「簡単な勉強等を取り入れてほしい」など、様々な意見・要望が寄せられています。

◆まとめ

- ・問5「保育園の快適さや安全対策等について」は全項目が90%以上となっていて、保護者が安心・安全に子どもを預けられるという安心感、信頼感が総合満足度の高さにつながっていることがうかがえます。
- ・「一日の様子をもっと知りたい」「保育参加などをやってほしい」という声が複数あります。保護者へ園の取り組みを伝える方法についてさらなる工夫が必要かと思われれます。

利用者（園児）家族アンケート集計結果

実施期間：2016年8月29日～9月9日

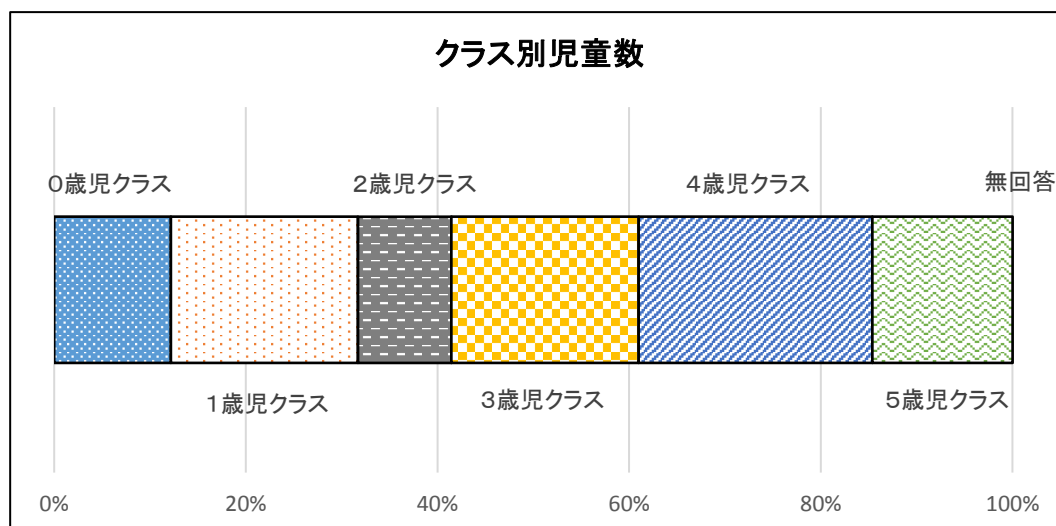
回収率：60.3%（回収41枚／配付68枚）

【属性】

クラス別児童数 (人)

| 合計 | 0歳児クラス | 1歳児クラス | 2歳児クラス | 3歳児クラス | 4歳児クラス | 5歳児クラス | 無回答 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| 41 | 5 | 8 | 4 | 8 | 10 | 6 | 0 |

※同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入

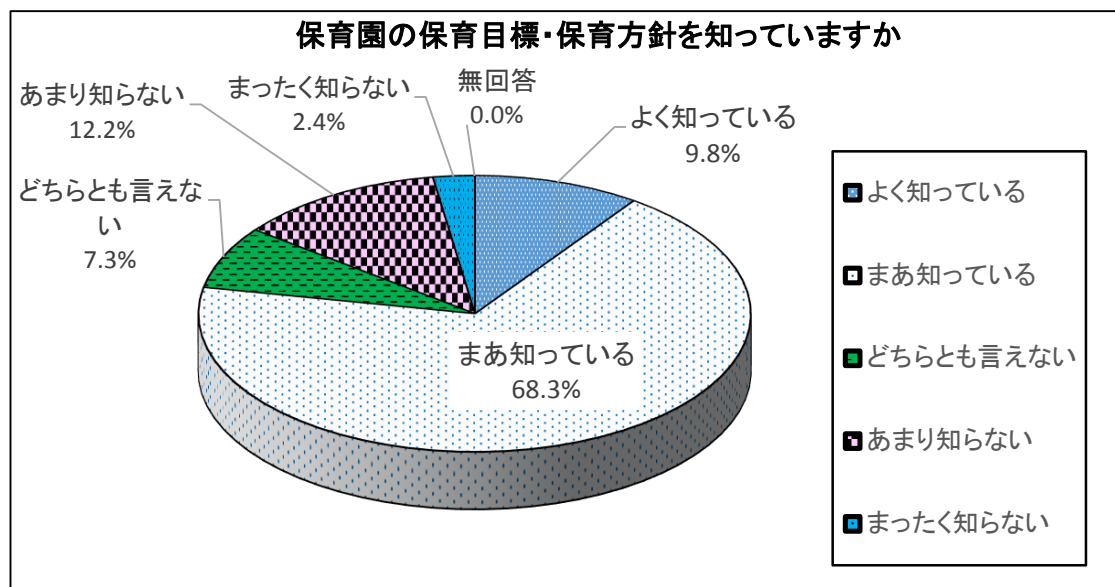


■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 保育園の保育目標・保育方針を知っていますか。

| 問1: | よく知っている | まあ知っている | どちらとも言えない | あまり知らない | まったく知らない | 無回答 | 計 |
|---------------------------|---------|---------|-----------|---------|----------|------|--------|
| あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか | 9.8% | 68.3% | 7.3% | 12.2% | 2.4% | 0.0% | 100.0% |

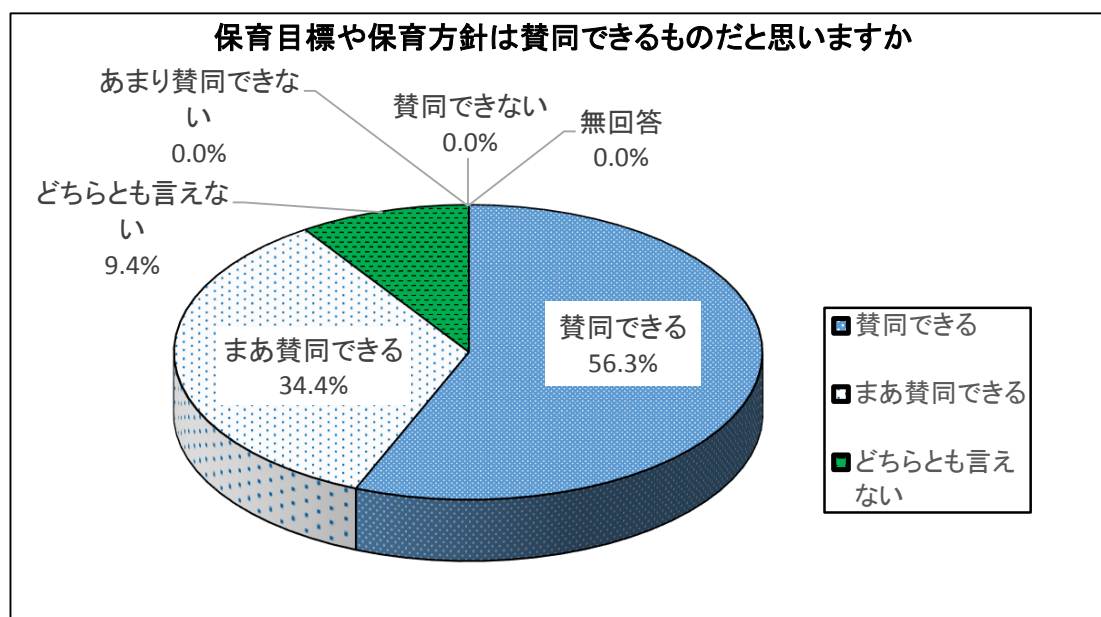
(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)



「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1 その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。

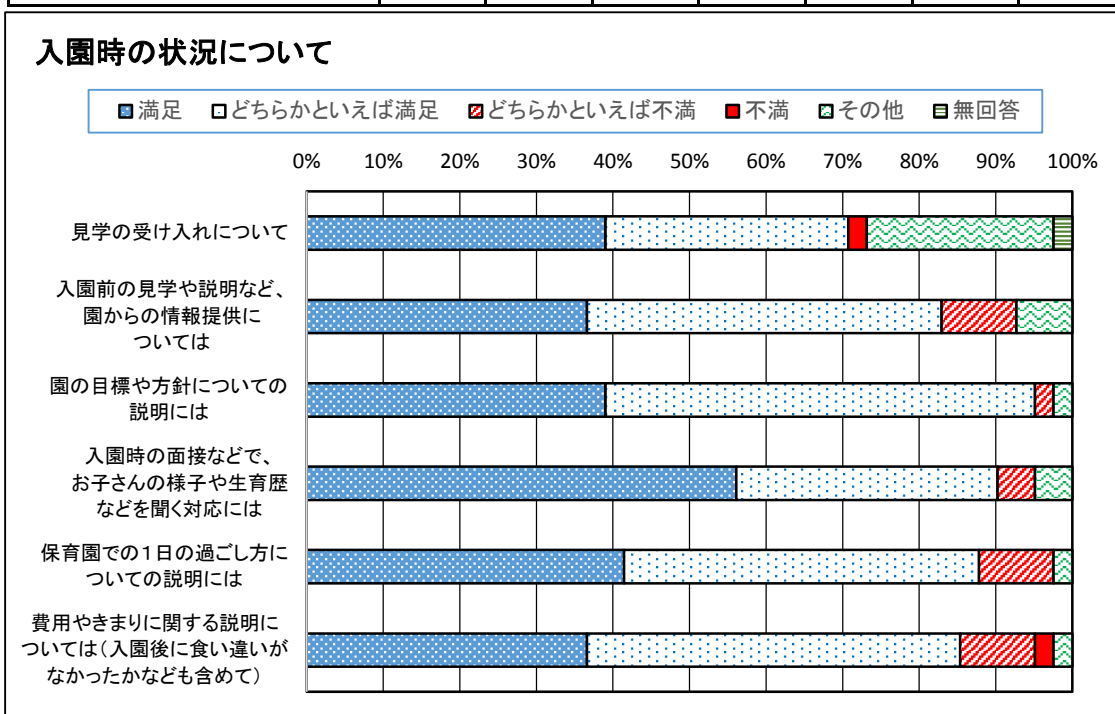
| 付問1: | 賛同できる | まあ賛同できる | どちらとも言えない | あまり賛同できない | 賛同できない | 無回答 | 計 |
|---------------------------------|-------|---------|-----------|-----------|--------|------|--------|
| あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか | 56.3% | 34.4% | 9.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |



■ 保育園のサービス内容について

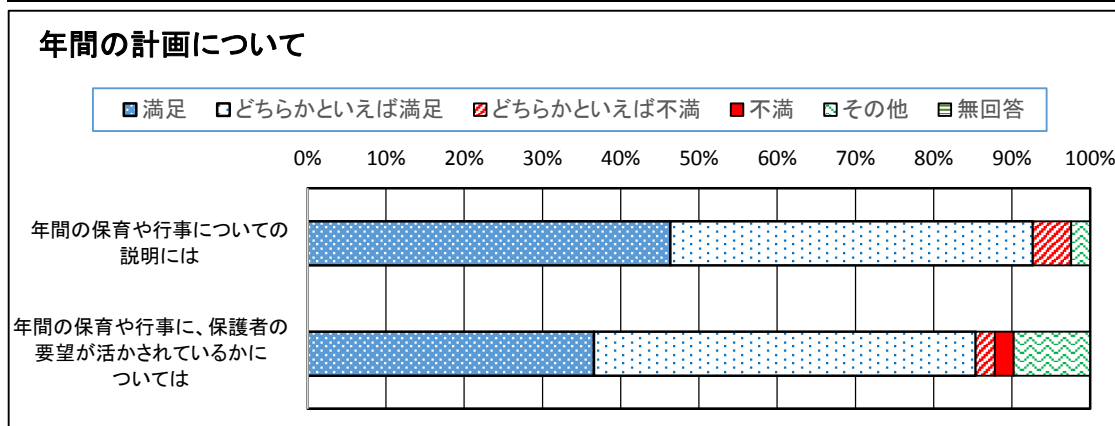
問2 お子さんが入園する時の状況についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|---|-------|------------|------------|------|-------|------|--------|
| 見学の受け入れについて | 39.0% | 31.7% | 0.0% | 2.4% | 24.4% | 2.4% | 100.0% |
| 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については | 36.6% | 46.3% | 9.8% | 0.0% | 7.3% | 0.0% | 100.0% |
| 園の目標や方針についての説明には | 39.0% | 56.1% | 2.4% | 0.0% | 2.4% | 0.0% | 100.0% |
| 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には | 56.1% | 34.1% | 4.9% | 0.0% | 4.9% | 0.0% | 100.0% |
| 保育園での1日の過ごし方についての説明には | 41.5% | 46.3% | 9.8% | 0.0% | 2.4% | 0.0% | 100.0% |
| 費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて) | 36.6% | 48.8% | 9.8% | 2.4% | 2.4% | 0.0% | 100.0% |



問3 保育園に関する年間の計画についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

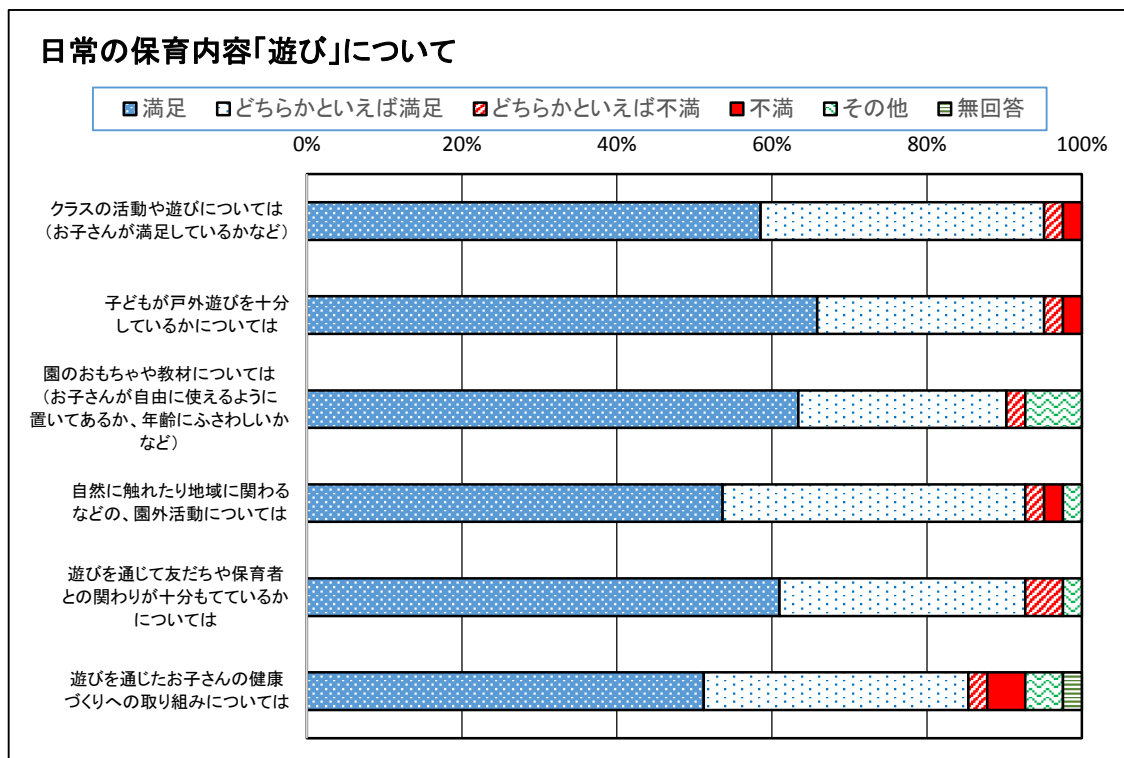
| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|--------------------------------|-------|------------|------------|------|------|------|--------|
| 年間の保育や行事についての説明には | 46.3% | 46.3% | 4.9% | 0.0% | 2.4% | 0.0% | 100.0% |
| 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては | 36.6% | 48.8% | 2.4% | 2.4% | 9.8% | 0.0% | 100.0% |



問4 日常の保育内容についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

●「遊び」について

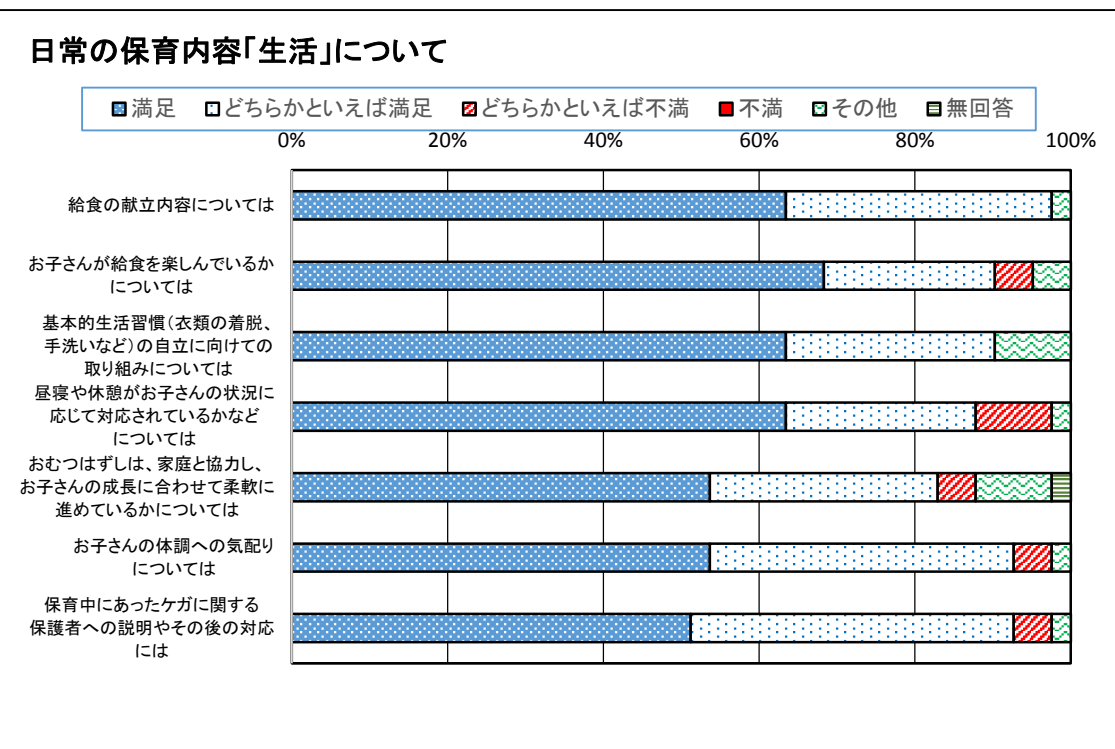
| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|--|-------|------------|------------|------|------|------|--------|
| クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど) | 58.5% | 36.6% | 2.4% | 2.4% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 子どもが戸外遊びを十分しているかについては | 65.9% | 29.3% | 2.4% | 2.4% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど) | 63.4% | 26.8% | 2.4% | 0.0% | 7.3% | 0.0% | 100.0% |
| 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については | 53.7% | 39.0% | 2.4% | 2.4% | 2.4% | 0.0% | 100.0% |
| 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては | 61.0% | 31.7% | 4.9% | 0.0% | 2.4% | 0.0% | 100.0% |
| 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては | 51.2% | 34.1% | 2.4% | 4.9% | 4.9% | 2.4% | 100.0% |



●「生活」について

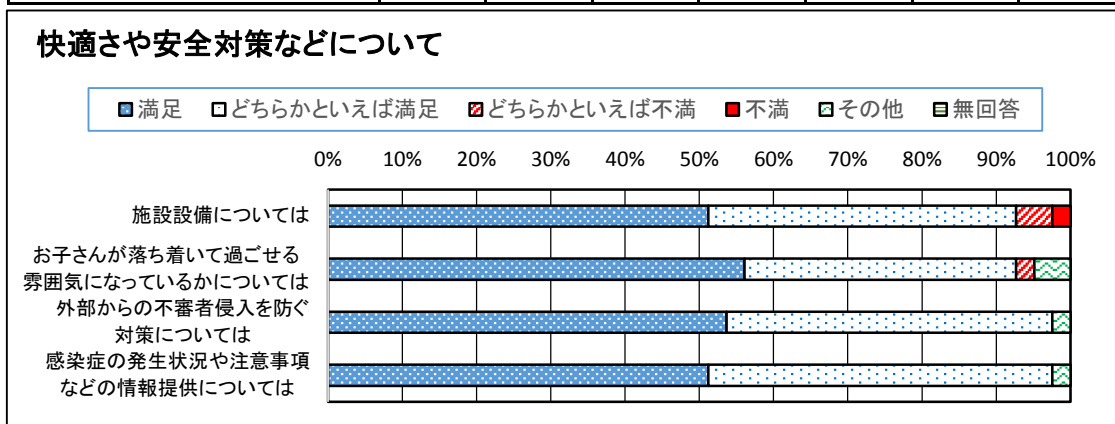
| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|---|-------|------------|------------|------|------|------|--------|
| 給食の献立内容については | 63.4% | 34.1% | 0.0% | 0.0% | 2.4% | 0.0% | 100.0% |
| お子さんが給食を楽しんでいるかについては | 68.3% | 22.0% | 4.9% | 0.0% | 4.9% | 0.0% | 100.0% |
| 基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては | 63.4% | 26.8% | 0.0% | 0.0% | 9.8% | 0.0% | 100.0% |
| 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては | 63.4% | 24.4% | 9.8% | 0.0% | 2.4% | 0.0% | 100.0% |
| おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては | 53.7% | 29.3% | 4.9% | 0.0% | 9.8% | 2.4% | 100.0% |
| お子さんの体調への気配りについては | 53.7% | 39.0% | 4.9% | 0.0% | 2.4% | 0.0% | 100.0% |
| 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には | 51.2% | 41.5% | 4.9% | 0.0% | 2.4% | 0.0% | 100.0% |

日常の保育内容「生活」について



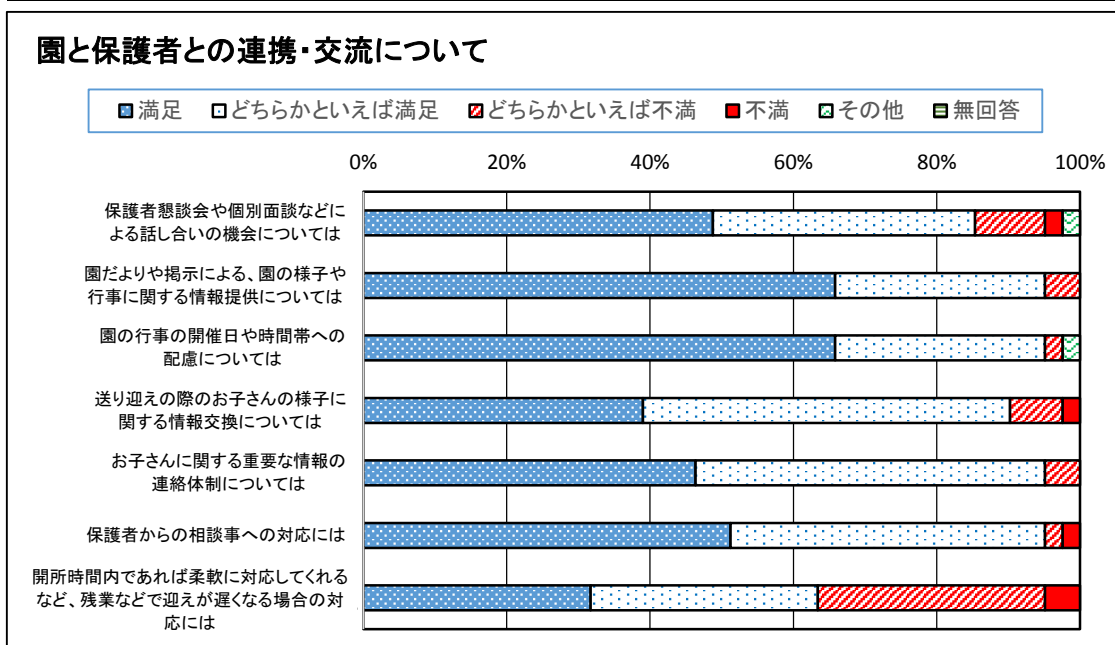
問5 保育園の快適さや安全対策などについてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|-------------------------------|-------|------------|------------|------|------|------|--------|
| 施設設備については | 51.2% | 41.5% | 4.9% | 2.4% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては | 56.1% | 36.6% | 2.4% | 0.0% | 4.9% | 0.0% | 100.0% |
| 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については | 53.7% | 43.9% | 0.0% | 0.0% | 2.4% | 0.0% | 100.0% |
| 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については | 51.2% | 46.3% | 0.0% | 0.0% | 2.4% | 0.0% | 100.0% |



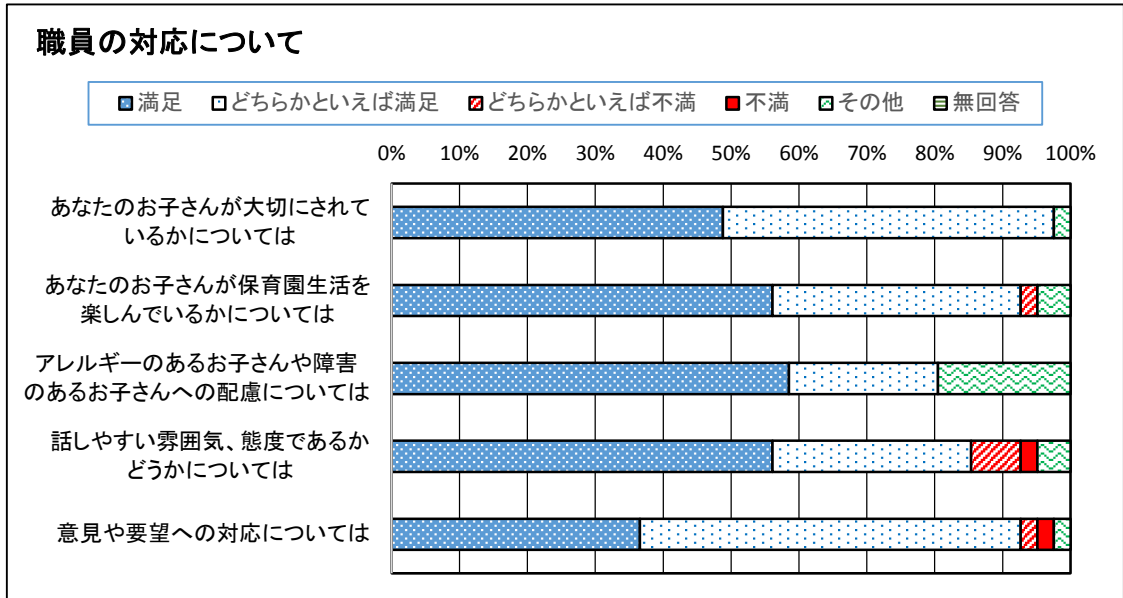
問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|---|-------|------------|------------|------|------|------|--------|
| 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については | 48.8% | 36.6% | 9.8% | 2.4% | 2.4% | 0.0% | 100.0% |
| 園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については | 65.9% | 29.3% | 4.9% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 園の行事の開催日や時間帯への配慮については | 65.9% | 29.3% | 2.4% | 0.0% | 2.4% | 0.0% | 100.0% |
| 送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については | 39.0% | 51.2% | 7.3% | 2.4% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| お子さんに関する重要な情報の連絡体制については | 46.3% | 48.8% | 4.9% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 保護者からの相談事への対応には | 51.2% | 43.9% | 2.4% | 2.4% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には | 31.7% | 31.7% | 31.7% | 4.9% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |



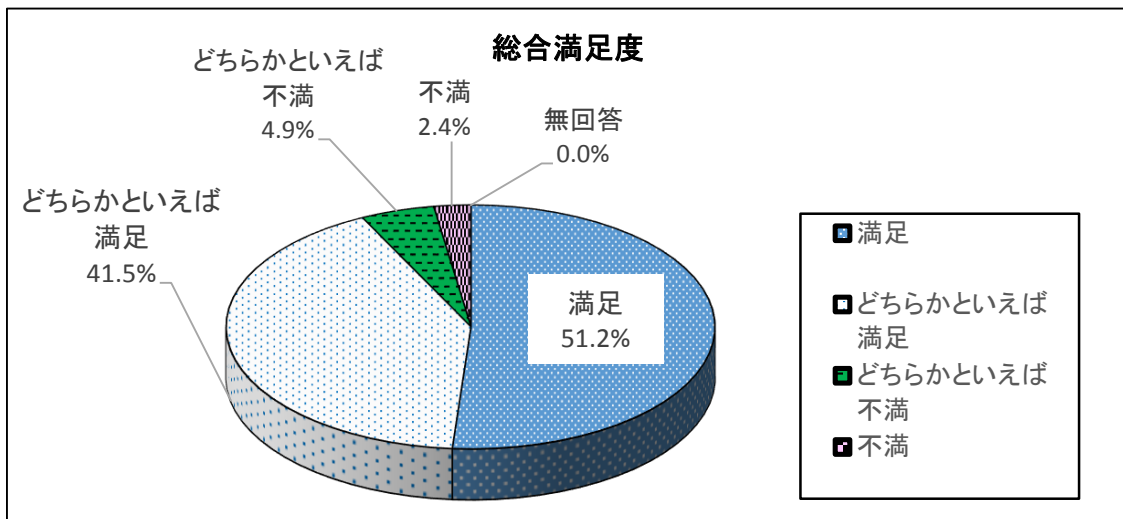
問7 職員の対応についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|---------------------------------|-------|------------|------------|------|-------|------|--------|
| あなたのお子さんが大切にされているかについては | 48.8% | 48.8% | 0.0% | 0.0% | 2.4% | 0.0% | 100.0% |
| あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては | 56.1% | 36.6% | 2.4% | 0.0% | 4.9% | 0.0% | 100.0% |
| アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については | 58.5% | 22.0% | 0.0% | 0.0% | 19.5% | 0.0% | 100.0% |
| 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては | 56.1% | 29.3% | 7.3% | 2.4% | 4.9% | 0.0% | 100.0% |
| 意見や要望への対応については | 36.6% | 56.1% | 2.4% | 2.4% | 2.4% | 0.0% | 100.0% |



問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | 無回答 | 計 |
|--------|-------|------------|------------|------|------|--------|
| 総合満足度は | 51.2% | 41.5% | 4.9% | 2.4% | 0.0% | 100.0% |



利用者（園児）本人調査 分析

観察調査 ①10月13日（木）9：00～12：30 ②10月17日（月）9：00～12：30

※ 観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

◆ 0歳児クラス

朝の会では、「大きな栗の木の下で」を保育士が歌い、子どもたちは歌に合わせて身体を動かします。「先生おはよう、みなさんおはよう」と歌い、挨拶をしました。「〇〇ちゃん」、「〇〇くん」と、保育士が名前を呼ぶと、子どもたちが手を上げます。「今日はお散歩にいきます」と、今日の活動内容を子どもに伝えました。

4人乗りのバギーに3人乗り、一人は保育士と手をつないで出発します。広場では、「よーいどん！」や追いかけっこをしたり、落ち葉を集めたりしました。子どもが保育士の手に葉っぱを乗せると、「すごい、拾えたね」「ありがとう」と保育士が答えました。保育士はアリを手に乗せて子どもに見せたり、空を飛ぶ鳥を子どもが指差すと、「あーいたねえ」と関わっていました。

食事は、手づかみや丸い柄のついたスプーンを使って、モリモリ食べていました。保育士は、スプーンを持って食べる子どもを見て、「自分で持つ気になったのね。すごいすごい」と褒めていました。

◆ 1歳児クラス

朝の会は、畳のスペースで行っています。保育士が絵本を読み、一人一人名前を呼んだあとに、「今日は、体操をして野菜さん“すぽーん”をします」と今日の予定を伝えていました。

体操では、曲に合わせてハイハイをしたり、ごろごろ床を転がったりしています。「キャー」、「ワー」と声を出しながら保育室をグルグル回り、よく動いて楽しそうにしていました。

「やさいさん」という絵本を読んだ後に、運動会で使用した野菜を引き抜く小道具を保育士が用意しました。長方形のダンボールに穴が5つあいており、そこにビニールに詰め物をした、ニンジン、大根、カブなどの野菜が埋められているもので、一人ずつ、野菜を引き抜いていきます。

車の形をした室内用の乗用玩具が人数分用意されると、「わーっ」と歓声が起きました。自分の車が決まると、保育室内をグルグル走り出します。限られた保育室内の空間でしたが、ぶつからずに上手に足で床を蹴りながら回っていました。

食事はスプーンを使って上手に食べており、野菜を食べられたら、拍手をしてもらったり、ハイタッチをしていました。

◆ 2歳児クラス

朝の自由時間には、テーブルでジグソーパズルをしていました。おしゃべりしたり、教え合ったり、集中している子どももいます。マットの上では電車ごっこをしており、それぞれが積木の線路をつなげて遊んでいます。線路を丸くつなぎ、なかに家の形の積木を並べて町のようにしている子どももいます。

一人一人トイレに誘い、保育士と一対一で関わっていました。応じない子どもには「あとでね」など声をかけていました。パンツやズボンが履きやすいように並べてあり、子どもたちは自分で着脱をしていました。

朝の会を終えると、少人数の子どもに声をかけて、紙皿にクレヨンで描いて、絵の具で塗る製作をしました。その他の子どもは、粘土やブロックで遊んでいます。粘土を丸棒で薄くのぼしたり、切ったりして遊んでいました。ブロックをつなげて輪を作り、コマのようにまわす子どももいます。

食事の時間は、野菜をまず配り、食べ終わったら魚と汁、ご飯を食べていました。「すごい」、「おいしい」など保育士は、子どもが意欲的になれるような声掛けをしていました。

◆ 3 歳児クラス

朝の会で保育士が「今日は、10月の？」と聞くと、数人の子どもが「13日！」と答えました。「なん日？」「お天気は？」と保育士が質問していくと、子どもたちは考えて答えていきます。「公園にはトイレがないので、トイレをしてから散歩に出かけます」と説明をし、散歩に出かけました。

公園で遊ぶ前には、公園内の約束事について保育士が説明をしていました。公園では、地面に引いたジグザクの線でジャンケンをするゲームや、砂場では砂のケーキ作りをしていました。保育士がバスケットゴールのように腕で輪を作ると、一列に並んだ子どもたちが線の上からゴールめがけてボールを投げました。入れば、「ピンポン！」はずれると「ブー！」と保育士が声をかける。ゴールに入ると「ワー」とみんなで笑い、楽しそうな声があがりました。

園に戻ると、子どもたちは自分で服を出してきて自分で着替えていました。

食事はランチルームで取っています。当番の「いただきます」の挨拶をして食事が始まりました。食事を残している子どもには「ニンジン食べてみよう」など声をかけていました。

◆ 4 歳児クラス (3~5 歳児クラスのリズムを含む)

朝の会で保育士が、「今日はイルカさん、アシカさん、クジラさんでリズムをします」と言うと、子どもたちから「いえーい！」と歓声をあげました。

ランチルームでは、3、4、5 歳児クラスの当番の挨拶と数曲の歌った後に、リズムがはじまります。3 歳児クラスから「どんぐり」「きんぎょ」を披露し、4 歳児クラスでは「どんぐり」「かめ」、5 歳児クラスでは「どんぐり」「ざりがに」を披露します。保育士や子どもは「ああ上手」など話しています。その後、「とんぼのめがね」に合わせて丸く並べたコーンの外をぶつかることなく、ぐるぐると走ったり、スキップをしたり、輪になって全員でリズムをしました。

リズムを終えると、クラスに戻り「戸板の登り」をしました。子どもの肩位ある高さの板を子どもたちが順番によじ登り、またいで反対側のマットに行くという運動です。子どもたちはさまざまな方法によじ登っていき、見ている子どもは「がんばーれ」と応援をしています。少しずつ高さを上げ、子どもによっては自分の背より高くなりました。その後の自由時間では、ままごとを使ったごっこ遊び、ブロック遊び、迷路などの絵本を見る、などと自由に過ごしていました。

ランチルームでの食事では、子ども自身が配膳をし、当番の挨拶で食事を始めていました。子どもたちで話をしながら食事を取っていました。

◆ 5 歳児クラス

朝の会で子どもたちは、「虫の声」を2つのグループに分かれて歌いました。保育士の電子ピアノに合わせて大きな声でしっかりと歌っていましたが、担当箇所をうまく合わせることができなかったことについて、「2 番が難しい」など子ども同士で意見を言い、もう一度歌いうまく合わせていました。「秋の空を歌いたい」と言う子どもの声で、「秋の空」も2つのグループに分かれて歌いました。

竹馬の絵を描く製作では、保育士が実際の竹馬を出し、確認しながら書いています。保育士は、色や服、髪、手の位置など子ども一人一人がこだわっていることを認めて誉めています。

公園の自由遊びでは、アスレチック、追いかっこ、かくれんぼ、縄跳び、ブランコと好きな遊びをしていましたが、しばらくすると、ほとんどの子どもが色鬼をすることになりました。誰が鬼になるか、ルールなどについて話し合っ決めていくことが出来ていました。泣いたりする時には保育士が一对一で対応してしたり、仲立ちしようとする子どももいました。子どもたちの要望でドッジボールを2試合行いました。保育士はルールを説明し、勝つコツ、投げるコツ、などをアドバイスして行きました。

食事はランチルームで取っています。給食当番がマスク、エプロン、三角布をつけ、ご飯と汁をよそいます。ワイワイとおしゃべりしながら食事をしていました。

事業者コメント

ペガサス新横浜保育園として2回目の第三者評価になります。前回は7年前になるので初めて受審するという職員もたくさんいた中、どう自己評価していくかという作業が一番大変でした。シフト制で動いている中、全職員がかかわっていくということの大変さを痛感しつつも、日ごろの保育の見直しをすることができました。少ない時間をお互いにやりくりしながら話し合ったことは、保育の見直しにつながったとともに職員間の連携をとるよい機会となりました。

保育の見直しについてはわかっているつもりということの多さ、伝え方の問題、明文化の必要性を感じました。それぞれの認識のずれなどを話し合いによって少しずつ修正していくことができ、大変有意義なものでした。

保護者の方にもアンケート等協力していただき、皆さんの見えなかった気持ちなども少しずつみえてきました。貴重な意見として今後のより良い保育のために生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

この評価結果をもとに、今後も職員、保護者が一緒になって協力しながら子どもたちのより良い成長発達の手助けができる保育園を目指していきたいと思います。

ペガサス新横浜保育園園長
森貞紀子

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

●市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

●横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.lg.jp/kenkou/fukushi/>

●かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.knsyk.jp/search/3hyouka/index.html>



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0011 横浜市中区太田町 4-49 N G S 横濱馬車道 802 号室

TEL : 045-222-6501 FAX : 045-222-6502 <http://www.shimin-sector.jp>
